

業は幾多の事ありて、
耐え一能く候はば、
業は幾多の事ありて、
耐え一能く候はば、

十日

水曜

午前中教育あり
午後、臨時の
日午、給食
各々の食
西角氏、
器の、
器の、

十日

水曜

〇九〇打合
終日、
手、
浸、
30分、

十日

水曜

〇九〇打合
終日、
手、
浸、
30分、

其日十月廿五日、船中、船中、
天、凡、一、奇、事、多、于、岸、之、船、中、
より、引、出、ス、ノ、事、也、廿、五、日、也、

同、日、何、カ、云、フ、事、也、
今、何、カ、云、フ、事、也、
一、ノ、事、也、

舟、中、ノ、事、也、
舟、中、ノ、事、也、
舟、中、ノ、事、也、

山、本、権、丈、衛、傳、ノ、事、也、
至、誠、身、也、ノ、事、也、
如、年、何、カ、云、フ、事、也、
偉、大、ノ、事、也、

舟、中、ノ、事、也、
舟、中、ノ、事、也、
舟、中、ノ、事、也、

舟、中、ノ、事、也、
舟、中、ノ、事、也、
舟、中、ノ、事、也、

十八日火曜

相考ノ動搖ニ乘員ノ元氣次第
衰ニ余又不覺。而ト后甲モ
也。不ニ極臥。若テ敷割オリ
研究セシ止マル。
曾根少尉ノ健在ハ心能キ限リナリ
明早朝。并暑ヲ祈リテ、
新舊長元ノ孝丸止。案ヲ仰キテ
得也云ニナル感ニ打ス。
体カニ老ハ小ナリ。養心親志ノ老ニ
大ナシ。

此年有年、何シテ又未若様ニ
夢ノ原カ枕頭ニ懸リ

十九日水曜

島ノ名々ト望ミテ、果サズ道邊大
松林ニ自心撲臥。茲テ中ノ人トナル。
十時頃。漸ク島形ヲ眺メテ。俄然
島近クシテ侍。海次弟ニ因キテ
島邊ニ立半頃。且隣ヲ失テ印入
余ヲ稍。區ニテ十時頃。朝暮大
新化地。南大東島。此也。去テ憶也。

善言の
 語を
 記す

情素の思ひは成候無是なり
 名民一彼ノ好意の協力ニ即ち
 在りて好身刻浮者中終久
 ニ換物成候なり。此日ヨリノ
 幼幼多務の担着ヲ得知れし
 深更ニ及テ
 陸上ヨリ我々天下治氣身内ニ充テ
 溢レテ多務盛心傾ハズナリ
 出向中流ノ現況地確ナリ
 若今ハ五碑一ノ前ナリ。夏ノ羨ハ
 極メテ大ナリ 警ヲ復候ヲ期ス
 此の夜帯
 手取り

此の夜帯
 手取り

遠く、数録の念の南列ニ如色ニ来
 たり。白の雀の杖ニコソシ

平日本曜

早朝引止下任氏ヲ送シ
 悲杜ヤル哉士別新苦ニ状
 誰と漢チカラシニ せバ其、漢ニ悲夜
 神天 水舟記ナリ決意あり成候
 ナリ 委此ヲナルハカラス

隨者隨能ヲ見送リス。

平前西海舟平南地家
一説右佐宗。海方中代也。格等
一併。概観ヲ控ハ。

東味内府能辨職

ノ儀内周レ成立ノ期シテ未ダ果終
至ス人曰ク一秋レテ秋ナル決多ノ下
我年ノ免運ニ逆進セニカクナリト。
庶幾ク儀ノ奏シテ下甚ダ大ニ後子レテ
然能ニ堪ユル也。今ヨリ中絶ニ
五至リ又モハ何ノ多クナリ。此等事ハ
一徳国民結テ罪ナリ。建等ノ義ナリ

ヤカク、アラスカ。事茲ニ至リテモハ
他ニ非ズ。一徳国民解ナリ。貴ノ深ク
其ノ因由ヲ相ノ察セカハルベカラズ。
而シテ今ナリ。真底カラシ能カク辨口
起シテ大層也。心カラス
神ノ日本ノ人。自ニテテトスンバ又何ナリ
日ニ方大。陽ヲ輝セシ。
外致。内也。通リ内變加リ。白ニ
或。秋ナリ。之ニ免テテ。果ハ
月本ナリ。格等テ。直ニカハルベカラズ
又此ヲ得シトシ。信ズルモナリ。
今岸。海。新島ニ在リテ。感慨極メテ切

壬日 金曜

皇太子降臨、總局地ヲ新築シテ
此ニ於テ其ニ金塔又珠塔敬拜シテ
期スル所ナリ。性ニ死セシ之ヲ以テ
昭和十九年七月廿日此日ニ於テ
旧日皇ニ對シテ生レ更テナルバカ
ラズ。死ニ止リテ天孫様又テヲ
ハカラス

小磯、米由而人得ニ協力の内閣組織
、大野將下ス。

壬日 土曜

新隊、配備ニ就テ研究、決定ナル
深層、新隊、向、所、以、注、者、ナリ
外、他、特、種、系、中、以、復、ク、雄、天、ト、シ、テ
頭、部、起、テ、予、深、ク、考、へ、得、ル、事、ナ、リ、云

皇太子降臨、總局地決定、午後龜池附近
地、午後、引、進、酒、心、運、送、及、指、示、
機、関、引、上、ス。
凡、テ、其、御、田、一、切、カ、茶、ニ、カ、シ、テ、
設、大、堂、兩、ニ、以、臨、南、始、由、爾、未、カ、成、ル、事、ナ

新米流根株よりモ夕方ニ至リ高直トスルニ
 一昨ノ暑氣散リテ浮以潮ニ心地良シ
 好ム所也然レテ海軍橋附近偵察更ニ軍旗
 あり此處迄ニ類々不覚ニ倒テ破傷ナ
 移地大死来スルニシテ既備ニ終ニ研究・今ノ時
 心探新派来カシ
 大東島力ニ思ヒ区ノ向ニ若クノ紛糾アリ
 女々言ヲ辨セヨ。大同ノ遠想也

大東島

海軍橋ノ邊ニ北村 皇・南陸平和郷
 大東島ノ欲シ風浪所 奉命護衛ニ大東島

伊比波群

伊比波群ノ北ニ伊比波群ニ無事ニ若ク
 新米流根株ニ於テ偵察・午向偵察ノ打合
 能ク知識ノ除ク今更ニ如ク思ヒ域トス

彼等長年村長長年ノ事ニ合食ス

能ク思ヒ域ニ於テ南中心強ク報母ニ限リ
 ナリ。古ミテ白頭老翁而モ古ミテ若ク
 凌ガ思ヒ域亦花ヲ凱切ノ教ヘル所多シ

曾根尉・忠中尉ノ語ル所也
 ナリ。能ク思ヒ域ノ御カスベキ。私判ニ非カ名譽

非唯唯片隊報之表陸之。毀譽獲取
如尚所計非。

少初近級女報ニ接ス。

皇恩鴻大ニ感位ニ下サニ及ル者務リ
痛感ス。働キテ。誠能近級ニ附隨ヤ

ホシテ感リス。
御事討敵者由人討事ヲ務メ。是期并
若シク。

多六日水曜

板垣陸軍少将才伴ニテ海軍砲

陸地位察

才伴。故軍備要領事立業

各和印中流。勇力空ニカガキ。吾々。運動ヲ
存下ル取返テ擬シテ海リ

世々ニ備。後。唯。遠。人。前。著。眼。ニテ
信。其。業。効。ヲ。取。ル。云。々。

領事才伴才便。人。格。ニ。下。ル

新湖岡下ニリ。出。大。少。少。同。ヲ。印。以。時。共。ニ。要。入
ス。日。同。慶。ノ。事。ナリ。此。ヲ。ニ。テ。我。子。ニ
於。テ。ト。思。フ。カ。切。ナリ。

至日 木曜

三日 本曜

朝来大雨在云ニ在リテ或斗計画ヲ繪ル
キ所各既長ク其メテ指示ヲ示シタ全ク
オス。其日、向カシテ一日ナリキ。
身依依然トシテ倦ク、糸、縞ヲセリ。
十四日、月此早ク澄ミテ、胸ヲ衝ク
モノナリ。
猶説以環月ヨリ巻ヲ讀ム。
今世位ト多クモ、ノミヨリ深ク教ヘラレ、モナリ。
自來、カ筆、時、鏡ヲシテ見エズ。

四日 金曜

身依倦ク、任隨ニ去下
不知歸、ハレ一書讀了、單巻ハ小鏡
ト云ニ夫道。而、仲々ハ人世ノ事、
猶キテ妙。此後ニ心、動カズ。
由達ニテ、彼師、ニ答方ヲモネ、ハナリ、
修マ、ノ、ト、幼キ、多ク、ナリ、
思ふ、事、又、直、程、ク、シ、健、ノ、レ、ト、コ、ソ、
行、キ、リ、 難、難、ノ、リ、五、十、以、ハ、言、
送、ル、
日、出、ル、鏡、ヲ、
身、依、依、然、ト、シ、テ、振、起、セ、ル、
家、庭、来、交、ハ、心、指、導、ニ、早、教、ヘ、ラ、レ、

徳事、河泥、火、又、取、糸、
此、領、田、高、高、著、也、
眼、方、大、

五日 吐曜

自、日、附、陸、軍、少、佐、任、
名、實、出、タ、ル、ハ、カ、ス、虚、名、
勿、レ、也、少、佐、者、也、
充、實、ヲ、期、ス、
若、年、即、又、任、シ、
少、佐、家、力、ヲ、求、求、也、
數、年、ヲ、期、ス、

道、長、野、定、ヲ、
ヲ、申、出、ス、

平、前、園、村、隊、
平、后、大、西、の、中、村、

若、今、中、心、也、
也、身、大、直、
若、今、中、心、也、
急、中、隊、来、り、
急、中、隊、来、り、

六日 日曜

大所飯ニ休養ヲ命じ此日ヨリノ飯氣
ヲ養フ

塩屋監視哨ヲ見奉歸心

若石止善粒珠、保存費用ニ關シ各科
アリ次第ニ創意工夫、後覽ヲ行フ

下館ヨリ下所將校ノ命食アリ

余並龜山山内村ノ遊取ヲ祝フ事ナリ

並若石ヨリ方務ノ勸ヲ行フ事ナリ大ニ志

氣ヲ鼓舞ス。此日ヨリノ健斗ヲ

期シキ

解ト被當リタカク早ウニ行ナリキ

島村隊官弁止才不慮、此ヲ遊グ
以テ待ススレテ人散リ行ク男子ノ群達ヲ
嘆ス

二月月曜

島村隊官弁止才不慮、此ヲ遊グ

以テ待ススレテ人散リ行ク男子ノ群達ヲ

嘆ス

島村隊官弁止才不慮、此ヲ遊グ

以テ待ススレテ人散リ行ク男子ノ群達ヲ

嘆ス